

本時の学習（12時間予定 本時はその3）

（1）ねらい

毎日の食事作りの工夫について調べ、自分たちの食事作りに生かすことができるようにする。

（2）人権教育の視点

毎日工夫しながら食事を作ってくれる人がいることに気付き、感謝の気持ちをもつ。

（3）準備 学習ノート

（4）展開（きめ細かな指導）

学習内容	時間	支援及び指導上の留意点	評価規準（方法）
1 前時の学習課題をふり返る。	3分	・本時は、家庭ではどんなことに気を付けて献立を立てているか、家の人にインタビューしてきたことを発表し合うことを知らせる。	（十分満足な状況 おおむね満足な状況）
2 調べた内容を発表する。	22分	・必ず一人一つは発表させるようにする。 ・一人一人の意見を板書にまとめていく。 ・同じ意見や似た内容など分類し、視覚的に分かりやすくまとめるようにする。 ・意見を確認しながら、家庭での家の人の買い物や調理のときの様子、つばやきなど思い出さ、どんな思いで献立を考えているか想像させる。 ・自分が手伝いや調理をするときにはどんなことを考え献立を立てているか投げかけ考えさせる。 ・食事調べの結果もふまえ、家の人があることに気を付けて献立を考えているか、インタビュー以外にも気付いたことを話し合う。 ・友達の意見をしっかり聞くようにし、大事なことはメモするよう促す。	家でインタビューしてきたことを積極的に発表しようとしている。 （観察、学習ノート） 家の人にインタビューしてきたことがノートにまとめられている。 （観察、学習ノート）
3 発表をもちにお楽しみ献立を考えるときの留意点をまとめる。	10分	・前時に考えた献立や献立を考えるとときに注意したことをふり返り、本時に発表と照らし合わせてみる。 ・調べたことをもとに以下の点について留意点をまとめるようにする。 （お弁当・・・短時間、保存性、持ち運び） （材料・・・季節、地域性、費用、） （栄養・・・既習内容の確認） （好み・・・全児童が食べられるもの） その他に自分の健康や日頃注意している食事のとり方なども、留意点としてまとめるようにさせる。 ・給食献立表を読み取り、給食では食品数が多いことや給食センターでは、毎月栄養目標を決めて広報活動していることを知らせる。	献立を考えるときの留意点が分かり、自分が立てた献立を見直している。 （学習ノート）
4 自分が考えた献立をふり返る。	5	・前時に考えた献立を見直し、改善する必要がある場合はどのようにしたらよいか自分でメモをしておくように助言する。 ・次時は、本時の学習をもとにもう一度お楽しみ献立作りをすることを知らせる。 ・日頃の食事（給食）にもどんなを食べているか、関心をもつよう呼びかけておく。	献立を考えるときの留意点を理解することができる。 （学習ノート）